



生徒10カ条 その②



『仲間と共に喜び感動し、共感できる』

「横堤中学校生徒10カ条」の2番目にある「仲間と共に喜び感動し、共感できる」について今回は少しお話ししたいと思います。みんなはこのことを学校の中でどんな時に感じますか？授業中に感じることもできる人もいるかもしれませんが、掃除をしているときに感じる人もいるかもしれませんが、多くは行事などの時に感じるのではないかと思います。体育大会や文化発表会などのように全員で同じ目標に向かって協力したり、一つのものを作り上げたりしたときに共に喜び感動し、共感できる瞬間があるのではないのでしょうか。いよいよ5月になりました。さらに本格的に学校は動き出します。1年生は一泊移住、2年生は校外学習があつという間にやってきます。6月には3年生の修学旅行もあります。このような行事にみんなはどんな気落ちで臨みますか？みんなのことだから家族や仲の良い友達と自由に行く旅行や遊びではないことはわかっていると思います。自分は楽しいし感動できているけど、周りの仲間はどうかしているかな？つらい思いや寂しい思いをしている人はいないかな？と、**他者を思う気持ち**を持って取り組むことで「仲間と共に喜び感動し、共感できる」瞬間を作れるのではないのでしょうか。

今年は冬季オリンピックが北京で開催されました。日本は冬季五輪史上最多の18のメダルを獲得しました。みんなはどの競技が印象に残っていますか？校長先生はカーリングにはまりました。最初はルールも全くわからない状態でしたが、数ミリ単位の技の競い合い、複雑な戦術。知れば知るほど面白くなっていきました。日本代表の口コ・ソラーレのチーム力にも感動しました。一投一投に**互いを尊重し合う声掛け、常にポジティブな言動**に勝っても負けても感動するシーンがたくさんありました。そんな中で特に感動したのがリザーブ（控え）選手が存在です。試合は同じ4人の選手が常に出ていました。万が一選手に何かあれば代わりに出場する控え選手であった彼女は試合が終わるたびに夜の11時から翌日の試合で使うストーン（選手が投げている丸い石）を一つずつ投げながらその特徴をつかみ、氷の



状態も含めて4人の選手に伝えることに徹していたそうです。そのような陰で支える人が今回の大会でもたくさんいたのだらうと改めて感動しました。口コ・ソラーレもそのチーム力で銀メダルを獲得することができました。そして、そのリザーブ選手は冬季オリンピック史上最年長のメダリストに輝くことができたのでした。まったく試合に出ていない選手が試合に出ていた4人の選手と同じ喜びと感動を共感できたのは**お互いに仲間を思う気持ち**があつたからだと思います。そんな気持ちでこれから

の行事をみんなで作っていきましょう。明日からはGW（ゴールデンウィーク）の後半が始まります。ようやく慣れ始めた学校生活のリズムが崩れないように有意義な時間を過ごしてください。